



感染症情報 つちだ小児科

先月の豪雪は本当におったまげました。3月になってようやく雪が溶け始めましたが、あちこちに豪雪の爪痕が残っています。農作物、山林の被害も甚大でした。猛威をふるっていたインフルエンザは、豪雪とその間の自宅待機の影響ですっかり影をひそめてしまったようです。スギ花粉もようやく飛散し始め、このまま春を迎えそうな様子です。



インフルエンザ 先月はA型インフルエンザ57名、B型インフルエンザ109名。インフルエンザ流行ピークは豪雪前だったようです。全国的には今年の流行は記録的だったようですが、それも収束してきています。ただ、散発的な流行は豪雪後でもみられていて春江西・東小学校、高椋小学校で学級閉鎖や学園閉鎖ができています。高熱でつらそうな時は医療機関の受診をお勧めします。

溶連菌感染症 先月は13名。豪雪後から増えてきています。例年春に流行します。典型例は、喉の痛み、熱、体や手足の発疹、舌はイチゴのようになります。嘔吐などの胃腸炎症状のこともあります。5~15歳の子どもが感染しやすいです。

手足口病 先月は発生なし。

ヒトメタニューモウイルス 先月は2名。例年春先から初夏にかけて流行します。これから増えてくるかもしれません。症状はRSウイルスとよく似ていて気管支炎をおこします。

RSウイルス感染症 先月は発生なし。

アデノウイルス感染症(プール熱) 先月は7名。夏かぜの一種ですが別にプールにはいらなくても飛沫感染でうつります。高熱とともに結膜炎を伴うことがあります。先月は坂井町の一部の保育園で流行がありました。

流行性嘔吐・下痢症 先月は18名。一時期、ウイルス性胃腸炎が一部の学校・保育園で流行していました。

マイコプラズマ感染症 先月は発生なし。

おたふくかぜ・水痘 先月は発生なし。

風しん・麻しん ここ1年以上発生なし。

※つちだ小児科ホームページでは、毎週最新の感染症情報「流行っている病気」をお届けしています。感染症情報に加えて、感染予防対策についても書いているので一度覗いてみてください。

No.23

平成30年3月



すくすく

先月はいつにない大雪に見舞われ、雪かきに追われる日々でしたね。まだまだ寒い日は続いているですが、柔らかい日差しの中に、春の訪れを感じる季節となりました。いよいよ来月には新年度を迎えます。お子さまたちが、元気にそのスタートを切ることができるようスタッフ一同、心を込めてお世話をさせていただきます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

給食やおやつについて



お子さまの状態に合わせた、給食やおやつを提供しています。口内炎やのどの痛みがあるお子さまにはご飯をお粥に変更したり、おやつは喉越しの良いゼリーを食べたりします。また、普段は完了期食を食べているお子さまでも、柔らかい物の方が食欲が進むということであれば、後期食に変更したりもできます。胃腸炎の子は、嘔吐が落ち着いてからOS1ゼリーを少しずつ口にして、飲めるようであれば様子を見ながら食事を進めています。このように給食は、食事形態の変更が可能なので、気兼ねなくおっしゃってくださいね。

解熱剤についてのお願い

～発熱ですくすくハウスを利用する場合～

- ❖ 急な発熱で解熱剤を使用することがあります。坐薬が苦手なお子さまはお知らせください。
- ❖ ご自宅にある解熱剤をお持ち下さい。
- ❖ ご自宅で解熱剤を使用した場合最終の使用時間を教えて下さい。



職員のひとこと

先月はインフルエンザの利用が多く、インフルエンザは1度かかると5日間以上はお休みしなければいけないので、連日利用されることが多くなります。お迎えの際、ご家族から「明日もお願いします。」お子さまからは「またね!」と言われ、病気にかかることはあまり良くないことですが、明日も来られることを楽しみにしている私たちです。



このような症状でもお預かりできます

- ❖ 朝の熱が37度前半で熱が上がる可能性がある
- ❖ 熱はなくても便の様子がいつもと違い心配
- ❖ もう一日大事をとって休ませたい
- ❖ 元気になったが、出席停止期間中で登校園できない

など

4月2日(月)・3日(火)

すくすくハウスはお休みです。

子どもたちがひな飾りを作りました!

おだいさまとおひなさまは千代紙で折りました。マーカーを使って、お顔を描きました。子どもたちが考えてシールを貼ったり、好きな絵を描いたりしました。とても可愛いひな飾りが出来上がりました。

